

走る！乗る！つなぐ！自転車×公共交通の取組 ～サイクルトレイン・サイクルバス・UDタクシー～

鳥取県 観光戦略課 サイクルツーリズム振興室 室長 木原 久美

□ 自転車とつながる公共交通の未来シンポジウム開催 [6/21]

全国のサイクルツーリズムに取り組む事業者や自治体が集い、各地のサイクルトレイン・サイクルバスの先進事例や課題を共有し、公共交通とのさらなる連携促進を目的に全国会議を開催。（参加者）約150名
（主催）鳥取県 （後援）国土交通省自転車活用推進本部事務局



安全性や車両対応、社内調整など、現場の工夫で制度や慣習の壁を乗り越える取組が共有された。

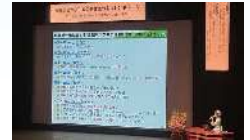
事例紹介（JR東日本・近畿日本鉄道・JR西日本・神姫バス・田原市）

実現には制度や装備だけでなく、現場・自治体・国との継続的な対話が重要と議論された。

パネルディスカッション



基調講演(鈴木 美緒氏 | 東海大学)
欧州事例を踏まえ、サイクルトレインバス導入の考え方と課題を提示。



話題提供(金籠 史彦氏)
公共交通との連携で、移動可能エリアを点から面へ拡大することが、持続・普及になると提言。

□ 開催結果

- 自転車と公共交通の連携の有用性を確認することができたほか**全国各地のサイクルトレイン・バスの先進的な取組や課題とその対応策について共有**することができた。
- 県内の市町村やサイクルツーリズム事業者のNCR指定に向けた機運醸成に繋がった。

□ 「鳥取だいせんサイクルバス」試験運行開始！

- 鳥取県と日本交通(株)が連携し、サイクリング環境の充実と新たな観光体験の創出を目的に、R7.5月から実証事業を実施。
- 大山エリア(標高700m)で自転車をそのまま積載できる「サイクルバス」の試験運行をR7.10月から開始。



< 運行概要 >

項目	内容
実施区間	大山町内路線：大山口駅～大山寺 ※途中乗降不可
運行期間	令和7年10月11日(土)～11月30日(日) 土日祝のみ
運行便数	1日7便【大山口駅発4便、大山寺発3便(※下山便)】
定員各便	2名・2台
利用料金	1名+1台:1,500円(乗車料金を含む)
予約方法	JR西日本観光ナビ「tabiwa by WESTER」で予約



バスで登坂区間をスキップし、標高700mの大山から初心者でも気軽に絶景ダウンヒルが楽しめる。

□ 「鳥取だいせんサイクルバス」の特徴

- 車両改造を行わず車内積載方式を採用し、**コストを抑え持続的運行や他路線への展開を可能**に。
- 「鳥取うみなみサイクルトレイン」と同じ予約システムを導入し、利用者の利便性を確保。



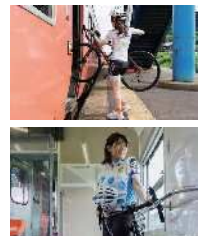
詳細はこちら

□ 「鳥取うみなみサイクルトレイン」大幅パワーアップ！

- 「鳥取うみなみロード」の代替交通として活用するため、R5よりJRと連携し、実証事業や期間限定運行(鳥取～米子区間)を実施！
- R7.4月より通年運行(土日祝のみ)へと移行するとともに、自転車積載台数の拡充や便数の増加を実現。

< 主な変更点 >

項目	令和6年度	令和7年度
運行期間	期間限定(3ヶ月)	通年運行
乗車可能駅	4駅	22駅
運行ダイヤ	1日1往復	1日3往復
積載可能台数	3台(3両編成)	最大5台(3両編成)



□ 安心！便利！サイクルキャリア搭載UDタクシー

- 万が一の時も安心！県内のタクシー会社(20営業所)にスポーツ用自転車を固定する「サイクルキャリア」を配備！



サイクリストとともに、自転車を車内に積載！

タクシー会社向けサイクルキャリア勉強会の様子

□ まとめ

- 自転車と公共交通の連携を通じて、新しい旅の形を提案し続ける。
- 「できることから始める」姿勢のもと、**利便性向上を目指し、交通事業者と連携し検討**を進めていく。

